



新潟地方本部 第10回定期地方委員会



とき: 2024年2月25日(日)
12時00分開会
ところ: 万代市民会館多目的ホール

東日本ユニオンは社員が安心した人生設計や将来を考へることでできる賃金を求め申入れを行いました。要求満額を実現しましょう!

労働の量・質の高まりに見合う賃金を求める

本部申21号 2024年賃金改定に関する申し入れ 提出

中央本部は2月13日、申21号・2024年賃金改定に関する申し入れを経営側に提出しました。

JR東日本が1月31日に発表した2024年3月期第3四半期決算は、連結・単体ともに増収増益を実現しました。

また好調な業績動向をふまえて、今年4月に発表していた通期の業績予想を営業収益、各利益ともに上方修正しました。

お客さまのご利用が回復したことにより、鉄道事業の旅客輸送量、鉄道運輸収入ともに前年を上回ったことが大幅な増収・増益へとつながりました。

好調な業績を実現できたのは、安全・安定輸送の確保に尽力し、サービスの向上を目指して、日々取り組んできた社員一人ひとりの努力によるものです。

変革2027の推進に伴い様々な施策が実施されたことにより、一人が複数の業務を担ったり、要員が減らされた中で勤務し



業務量が増加している中でも、社員一人ひとりがその働き方に応え、奮闘した結果、会社が持続的に発展していることを経営側は直視するべきです。

◆本部申21号 2024年賃金改定に関する申し入れ 要求項目

1. 定期昇給は「昇給係数4」とすること。
2. 2024年4月1日に在籍する社員の基本給を一律12,000円引き上げること。
3. 2024年4月1日に在籍するエルダー社員の基本賃金を一律6,000円引き上げること。
4. 第一基本給を廃止すること。

ダイヤ改正に伴う体制・運用の見直し 具体的な内容を質し申し入れ

新潟地本は1月26日、申19号・2024年3月ダイヤ改正に関する第二次申し入れ(モビリティ・サービス系統における体制の見直し)を提出しました。

新潟地本は12月20日の見直しを行うとして団体交渉を行い、「モビリティ・サービス系統における体制の見直しについて」の提案を受けました。

輸送の安定性向上と効率的な業務体制を実現するためとして、3月の長岡統括センター発足や、来年度末の新潟地区での統括センター発足を踏まえ、3月実施のダイヤ改正にあわせて営業・業務体制

「ワンマン運転関係」
1. 只見線ワンマン運転可能と判断した根拠を明らかにすること。
2. 只見線における車掌乗務の技術保持について明らかにすること。
3. 只見線は冬期間ツーマンとすること。
4. 磐越西線津川・野沢間

■申19号 申し入れ項目

1. 只見線ワンマン運転可能と判断した根拠を明らかにすること。
2. 只見線における車掌乗務の技術保持について明らかにすること。
3. 只見線は冬期間ツーマンとすること。
4. 磐越西線津川・野沢間
5. 磐越西線新津・五泉間及び弥彦線東三条・弥彦間を全車扱いで乗降可能とした理由を明らかにすること。
6. ワンマン運転の拡大及び前項の乗降方法に伴うご案内(いわゆる乗車指導)について明らかにすること。
7. ワンマンミラーの清掃担当・清掃周期を線区別に明らかにすること。
8. 新津・会津若松直通のワンマン列車における津川駅のワンマンドア設定(全車・自車を明らかにすること)。
9. 委託駅の無人化等全車・自車を設定する考え方を明らかにすること。
10. 委託駅の無人化等におけるドア扱い(全車・自車)に変更があるか明らかにすること。

【業務融合関係】

1. 新津運輸区車掌行路で行う新津駅の業務内容を明らかにすること。
2. 新幹線運輸区車掌の駅業務融合(新幹線ホーム列車扱い)について駅勉強会等への出席を明らかにすること。



【運用行路関係】

1. 基本運用行路表に「その他時間」の開始・終了時刻を明記すること。
2. 準備・折り返し・整理時間一覧表において新潟運輸区・新幹線含む各ホーム相互間の時間が1分増えている理由を明らかにすること。
3. 遠距離通勤者に配慮した行路及び行路順序設定とすること。
4. 暖房予熱の負担軽減を図るため新発田・津川滞泊となるキハ110系の運用を見直すこと。
5. 新津運輸区B2105行路の239D会津若松発車場面の客室温度が低いため出区場面において暖房予熱を行うこと。
6. 車掌の乗務終了後の折り返し時間(終着)を「乗継・便乗」と同じ時分とすること。
7. 車掌の柏崎場面の折り返し時間は、ホームの無い4番線・休憩室相互間に基づいた時間となっているのか明らかにすること。